

Mazroc

マツロクプラス
2022. November

マツ六株式会社

Topics

- ✓ H.C.R.2022 ご来場御礼
- ✓ 手すりカタログVOL.4 今月発刊!
- ✓ 設置・施工例写真大募集!
- ✓ 作業療法士からみた住宅改修
- ✓ バリアフリーの耳寄りな話
- ✓ 動物証明写真 etc...



ご来場ありがとうございました!

国際福祉機器展 H.C.R.2022



マツ六ブース バーチャルツアーを公開中!

ぐるっと見回せる360°ビューで、まるでブース内を歩き回るように展示商品をご覧いただけます。商品の確認などにも、ぜひご利用ください。



国際福祉機器展Web2022は引き続き開催中!

<https://hcr.or.jp/web2022>

11.7月
17:00まで

※閲覧には登録(無料)が必要です。

BAUHAUS

AQUA_{rail}

ソフトアクアレール

NEW

I型ハンドに
400・500mmが
新登場!

SAQ-I-400W SAQ-I-500W

ディンプルつき 縦横兼用

Mazroc VOL.4

HANDRAIL CATALOG

今月発刊!

※発刊は11月下旬を予定しています。

手すり工事に必要な部材を100ページにまとめた持ち運びしやすいコンパクトなカタログです。

ご用命は
弊社担当営業
まで

福祉用具手すり
たよレール
シリーズ
設置例

一般新築・リフォーム
介護保険住宅改修・DIY
BAUHAUS
ECLE_®
施工例

写真大募集

好評企画
第6弾!

Before



After

たよレール設置例

BAUHAUS 施工例



After



Before

マツ六では、弊社オリジナル商品を使用した設置・施工事例の写真を募集しております。ご応募いただいた写真は、弊社のカタログ・ホームページなどでご紹介させていただくほか、新商品開発の資料とさせていただきます。ぜひあなたの自慢の現場を披露してください!

DIY



キャンペーン
実施中!

12月31日(土)まで

ご応募は弊社Webサイトの応募専用フォームから
<https://event.mazroc.com/bosyu/photo>

※設置例・施工例はマツ六オリジナル商品に限りです。

※ご応募には施主様のご了承が必要となります(ご自宅でのDIYをされた場合を除く)。個人および場所が特定できるものが写り込んでいない写真でご応募ください。その他、応募専用フォームページに記載しております「写真募集要項」を必ずご覧ください。

Check!



福祉住環境
コーディネーター

道

Q

地域包括支援センターにおいて、主任【A】はかかりつけ医(主治医)などと連携しながら、支援困難事例への対応をするともに、地域全体のケアマネジメントを向上させるための役割を担っている。

A

- ①看護師
- ②介護福祉士
- ③介護支援専門員
- ④保健師

答えは
裏面へ

認知症がある方への住宅改修は、見通し、識別、見える収納で！

日本における65歳以上の認知症の人の数は約600万人(2020年)と推計され、2025年には約700万人(高齢者の約5人に1人)が認知症になると予測されています。そうすると、認知症があっても暮らしやすい居住環境を実現していく必要があると思います。

認知機能と転倒の関係を見てみると、歩行中に話しかけられると止まってしまう対象者では転倒リスクが高くなるとされ、計算をしながら歩行する等の二重課題歩行と転倒に注目が集まるようになりました。二重課題歩行条件下では、注意機能や認知機能が関与し、様々な影響がでることが報告されています。つまり、高齢者の考え事をしながらの歩行、作業しながらの移動は、転倒する可能性を高めていると言えます。

これら認知症がある方の症状と、それらに対応する住宅改修方法が示されているものがあります。その中から、注意機能や認知機能と関連がある箇所を参照すると、居住環境に関する情報の認知が挙げられています。見えていない2階や居室が認識できない、同じデザインのドアが並んでいると自室が分からなくなる等々、見えないことへの対応、物の識別が苦手になることが示されています。

これらの場合、部屋のレイアウトを大きく変えずに、見通しやすいよう、家具を配置する。利用する扉などに、認識しやすい装飾や小物、色彩を用いて、

「作業療法士からみた住宅改修」、「理学療法士からみた手すり」を交代でそれぞれの視点から、専門的な知見を踏まえお伝えするコラムです。

社会・生活環境研究所
作業療法士
二級建築士

山田 隆人



識別しやすくする。手すり等は、壁の色などとコントラストをつけて、わかりやすくする。使用者の体格や使い方に合わせて、使いやすい手すりを設置する。これらの改修や工夫をすることで、生活行為が行いやすくなり、転倒等を防ぐことが可能になります。

しかし、これだけでは十分とは言えません。いろいろな住宅を見せて頂いた経験から言えることは、認知機能が低下している可能性がある高齢者は、見える所に物を置き、それらを利用していく傾向が非常に強いように思います(図1)。自身が行動しやすい箇所に見えるように様々な物を置かれるので、時には自身の通路を遮ってしまい、つまずきの要因になることもあります。ですので、見やすい扉や手すりなどの改修に加えて、通路や行動に影響を与えない「見える形での収納」が必要になることをお忘れなく。



図1) 台所の見える所への物を置く様子

参考文献

- 厚生労働省、認知症-することからはじめよう みんなのメンタルヘルス、https://www.mhlw.go.jp/kokoro/know/disease_recog.html
- 山田実、村田伸、太田尾浩、村田潤、高齢者における二重課題条件下の歩行能力には注意機能は関与している - 地域在住高齢者における検討 -、理学療法科学、Vol.23、No.3、pp.423-439、2008
- 長谷川洋、認知症に対応した住宅改修の計画手法、高齢者等のための住宅バリアフリー改修の計画手法に関する研究、国土技術政策総合研究所資料、No.825、pp.54-87、2015

バリアフリーの耳寄りな話 その5

浴室での立ち上がり動作は注意が必要

2021年12月に消費者庁から、高齢者の入浴中の溺水等に注意喚起がありました。以下がその内容です。

●入浴中の溺水 ～自宅の浴槽内での死者数は交通事故の約2倍!～ (事故を防ぐためのポイント)

- 入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう。
- 湯温は41度以下、湯につかる時間は10分までを目安にしましょう。
- 浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。
- 食後すぐの入浴や、飲酒後、医薬品服用後の入浴は避けましょう。
- 入浴する前に同居者に一声掛けて、意識してもらいましょう。
- 湯温や部屋間の温度差、入浴時間など普段意識しにくい部分について、温度計やタイマーを活用して見える化するようにしましょう。

※引用元:消費者庁Webサイト 高齢者の事故を防ぐために

事故を防ぐポイントが6点あげられていますが、直接的に「転倒」という言葉は見当たりません。しかし、ポイントの3点目に「浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう」という項目があります。理由としては、入浴中に体にかかっていた水圧が、立ち上がることによってなくなり、全身の血管が拡張することで一時的に脳への血流が減ってしまい、結果としてめまいや立ちくらみを起こしてしまうからです。また浴槽内だけでなく洗い場でもシャワーベンチから立ち上がる際に、立ちくらみやめまいを起こす方がいらっしゃいます。浴槽ほどではありませんが、この場合も脳への血流不足が主な原因と考えられます。

立ちくらみは若い方でも経験があると思いますが、高齢者になって足腰が弱くなった状態では、そのまま転倒事故につながりかねません。ゆっくり立ち上がるなど急激な血流の変化を起こさないことが大事ですが、それでも防ぎきれない場合が

動物証明写真

File No.
52

なまえ 凧斗 (ナギト)

ところ 神戸市立王子動物園

しゅるい チャップマンシマウマ

せいべつ メス

イナズマ?
マークㇿ見えますか?

シマウマのトリビア

シマウマの縞模様に注目したことはありますか?この模様は、人間の指紋のように、一頭一頭異なります。飼育員さんのお気に入り、凧斗の額の白く小さなイナズマ?マークㇿ。是非写真から探してみてください。



あります。そんなときに浴槽の横や洗い場にちょっとした手すりがあれば、転倒予防につながります。ただし、賃貸住宅の場合や漏水が心配で浴室の壁に手すりを付けるのが嫌な方もいらっしゃる。そんな場合には浴室でも使える据置きの手すりが便利です。

マツ六製品では水に濡れても安全に使える据置き手すり「たよレールFree」が発売されました。浴室の洗い場でシャワーベンチから立ち上がる際フラフラするという方に、転ばぬ先の手すりとして「たよレールFree」のご利用をお勧めされてはいかがでしょうか。

※たよレールFreeは浴槽からのまたぎ動作にはご使用いただけません。

